

# 4週間の体当たりリポート ごみ、減らしてみました。



7月のある木曜日、夕方帰宅した私は、部屋のなかの**異臭**に気づきました。

においの元はキッチンのごみ箱！  
生ごみが悪臭を放っていたのです。しかし、ごみの収集日は金曜日。明日の朝まで我慢しなくてはなりません。

昨年までは、消臭剤でごまかしながらすごしてきましたが、もう、うんざり！  
今年こそはこの悪臭に別れを告げ、さわやかな我が家を取り戻す、と決心しました。

我が家は、会社員の夫と2人暮らし。以前から、週に2回のごみの日には、半分も入っていない、すかさずかのごみ袋を出していました。これも、生ごみを捨てるためです。  
「生ごみさえなければ、ごみ捨ての頻度を減らせるのでは…」

一般的に、家庭から出る可燃ごみのうち4割以上を生ごみが占めると言われています。

そこで、生ごみ処理機の購入を検討しました。何度も家族会議を重ね、畑のない我が家は、堆肥を作るコンポストではなく、電気式生ごみ処理機を購入することにしました。町の購入費補助制度を利用すれば、2万円もの補助金がもらえるという点も、大きな決め手となりました。さっそく、その日に出た423gの生ごみを処理したところ、処理後はからからに乾いて47gになっていました。(89%の減量！)庭に埋めることにしたので、423gのごみを削減できたことになりました。

昨年度、家庭から排出された可燃ごみは、1120トあり、ささゆりクリーンパークで焼却処分されました。

この処分のための町の負担金は、5435万円です。このうち、ごみ処理手数料(ごみ袋販売代金)として1661万円をごみを出した方に負担していただき、残りの3774万円をみなさんの税金で負担しています。

町民のみなさんに大きな負担をさせていただいていることから、ごみの減量化をすすめるために、生ごみ処理機の購入助成や容器包装その他プラの回収、拠点(資源)回収、エコステーションの開設を

行っています。

また、ひまわりクリーンセンターや大型商業施設では資源リサイクルが行われています。

ごみの減量は、町民みなさんのちよつとした努力で大きな成果が生まれます。

ごみが減ることで、ごみ処理費が減るだけでなく、焼却によって排出されるCO<sub>2</sub>が抑制され、地球温暖化防止にも繋がります。

正しく分別して資源リサイクルにご協力ください。

水道環境課 環境衛生係 山田



八百津町で排出される家庭ごみが処理される、ささゆりクリーンパークを見学してきました。

近くのごみ集積場に出されたごみは、収集車でこの施設に運ばれます。ごみピットに入れられた可燃ごみは、焼却炉で燃やし、灰になります。

出た灰は、さらにプラズマ式熔融炉によって1350度以上の高温で溶かされます。これを急冷して固めたものは、「スラグ」と呼ばれています。砂状で、ガラスによく似た性質を持ち、においもな



ささゆりクリーンパーク外観。ごみの匂いは全く感じませんでした。